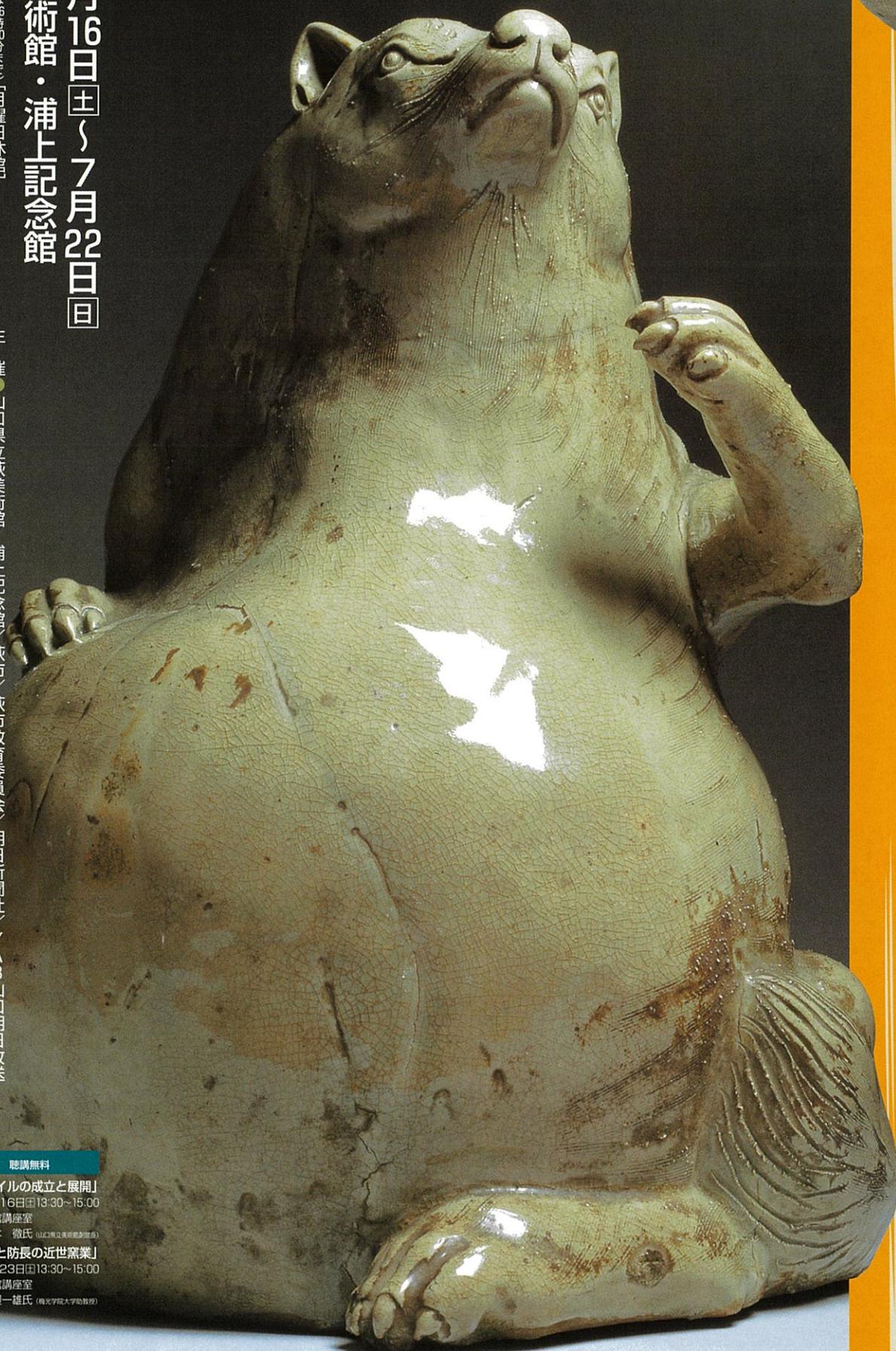


二〇〇〇年パリ展 帰国記念

# 伝統と革新 萩焼四〇〇年展



平成13年6月16日(土)〜7月22日(日)

山口県立萩美術館・浦上記念館

開館時間 ● 9時〜17時(入場は16時30分まで) [月曜日休館]

観覧料 ● 一般1100円(900円) / 学生800円(600円)

( )内は、前売料金および20名以上の団体料金。

18歳以下の方および高等学校、盲・聾・養護学校に在学する生徒は無料。

主催 ● 山口県立萩美術館・浦上記念館 / 萩市 / 萩市教育委員会 / 朝日新聞社 / YAB山口朝日放送  
後援 ● 山口市 / 長門市 / 萩商工会議所 / 萩市観光協会 / KBC九州朝日放送 / 萩ケーブルネットワーク  
協力 ● 日本航空 / 日本通運 / 萩陶芸家協会 / 表千家萩教授会 / 裏千家淡交会萩支部  
遠州流 / 小堀遠州流萩支部

### 記念講演 聴講無料

- 1 「萩焼スタイルの成立と展開」  
日 時 ● 6月16日(土) 13:30〜15:00  
会 場 ● 当館講座室  
講 師 ● 榎本 徹氏 (山口県立美術館館長)
- 2 「萩焼古窯と防長の近世窯業」  
日 時 ● 6月23日(土) 13:30〜15:00  
会 場 ● 当館講座室  
講 師 ● 渡辺一雄氏 (福光学院大学助教授)



# 伝統と革新 萩焼四〇〇年展

織豊政権期に興隆した萩焼。以来四〇〇年におよぶその作陶の歴史は、日本人の精神世界を体現する茶陶の歴史そのものであったといわれています。

本展覧会では、「江戸期」「近代」「現代」と各時代の特徴を抽出したうえで、さらに萩焼の器形の多様に注目し、茶碗・茶入・水指などの茶陶、花器・食器などの用途と同時に見せることを意図した作品群、そして鑑賞に重点を置いた置物や現代のオブジェまでの3区分した展示構成で、萩焼四〇〇年の歴史を紹介いたします。

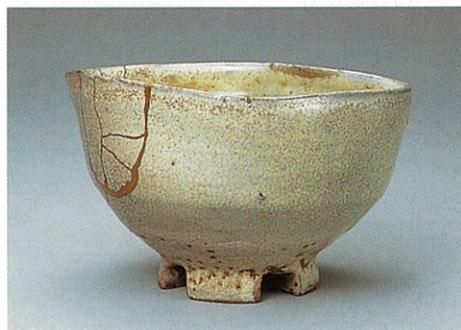
造形技術と精神表現の「伝承」とその「変遷」、そして革新的表現の誕生を明示し、萩焼の過去・現在・未来を展望しようとするものです。



《白萩手桶花入》三輪休雪 1965年



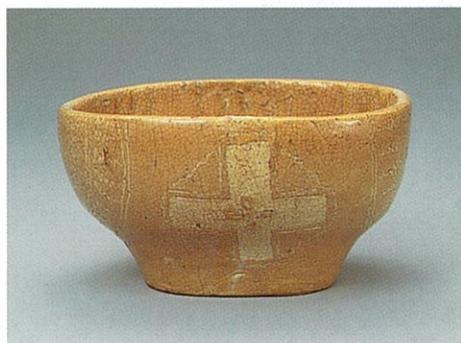
《萩茶碗》江戸時代前期 毛利博物館



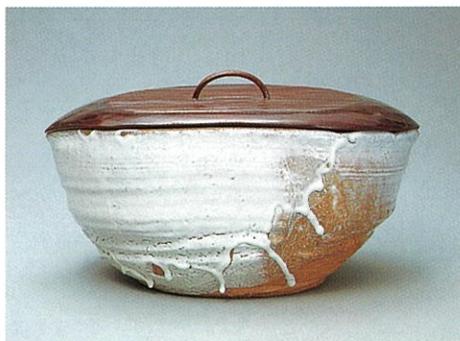
《萩割高台茶碗》江戸時代前期



《萩富士図割高台茶碗》6代林半六 江戸時代後期



《萩十字文割依形鉢》江戸時代前期



《萩編笠水指》三輪休和 1973年 山口県立美術館



《花器「暁雲」》吉賀大眉 1973年 山口県立美術館

## 萩焼400年展「呈茶席」のご案内

	呈茶日	団体名
1	6月16日・17日	表千家萩教授会
2	6月23日・24日	小堀遠州流萩支部
3	6月30日・7月1日	表千家萩教授会
4	7月7日・8日	裏千家淡交会萩支部
5	7月14日・15日	裏千家淡交会萩支部
6	7月21日・22日	遠州流

抹茶席 ● 時間 / 10:00~15:00 ● 料金 / 500円

## ギャラリー・ツアー

毎週日曜日11:00~12:00  
担当学芸員による列品解説を行います。

【前売券販売所のご案内】萩市役所案内所、萩商工会議所、萩市観光協会、道の駅（萩市、阿武郡内）、プレイガイドなど



山口県立萩美術館・浦上記念館  
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1  
TEL0838-24-2400 / FAX0838-24-2401  
URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.jp/>

## 交通アクセス

- JR萩駅=タクシー=10分 / 萩朝陽まあるバス20分
- JR小郡駅=バス70分 (萩バスセンター下車、徒歩15分)
- 石見空港 (鳥取県益田市)=バス75分 (萩バスセンター下車、徒歩15分)
- 中国自動車道=小郡IC、美奈IC、各50分



ご観覧割引券 本券ご持参の方は、観覧料を100円割引いたします。

ご観覧割引券 本券ご持参の方は、観覧料を100円割引いたします。

